



NPO法人まちづくり大石田、(大石田町/山形県)

地域特性

大石田町は県内有数の豪雪地で、例年町中心部においても2mを超える積雪があり、ボランティアや建設業者等による除排雪や雪下ろし、行政による道路除雪等が行われてきましたが、それでも雪を理由とした近隣市町への転出に歯止めがきかない状況です。町の人口は1980年のピークに減少するとともに、高齢人口(65歳以上)も30.8%(2010年時点)に上昇しており、今後さらに高齢化が進行していくことが予想されています。

町では元気な高齢者の受け入れによる移住定住促進を目指していますが、雪対策への不安から町を避けて近隣自治体へ移住する方が多く、結果的に高齢化が一層進行して除雪の担い手がさらに不足する状況です。

そのため、町の総合戦略においても雪処理に係る町民の負担軽減策が最重要課題と位置づけています。

きっかけ

2015年に地方創生に関する町民アンケートを行ったところ、町の住みにくさに関する回答で「雪が多い」が84.1%と最多となり、特に老後の除雪作業を心配して、除雪の支援サービスを要望する声が多く寄せられたことがきっかけです。

何を目指したか

冬期間における町民生活の支援体制を構築するとともに、雇用を創出することを目指しました。

何をやったか<現状維持>

NPO法人まちづくり大石田の有償ボランティア(町民有志)が、町民からの依頼により各家庭の敷地内で短時間な除雪を行っています。予約は前日まで受け付け、料金は1時間3,800円、そして各地区に在住する住民有志が作業するため、早く、安く、うまい、と好評です。

主な課題

<人(主体)>

除雪作業の担い手が、取組開始当初は10名程と少なかったことが課題でした。

→解決策は後述



ミニホイールローダによる除雪作業の様子



小型除雪機による除雪作業の様子



●期待される効果

国土管理

- ・各家庭の敷地内除雪によるまちの維持管理

自然共生

防災・減災

- ・雪害の影響緩和
- ・高齢者が無理をして除雪することによる事故のリスクを軽減

地域づくり

- ・有償ボランティア同士による地域間・多世代間交流の促進
- ・冬期間の雇用の確保

関連予算

雪対策総合交付金(県)、
除雪支援事業補助金(町)

問い合わせ先

大石田町まちづくり推進課(0237-35-2111)

NPO法人まちづくり大石田(0237-53-1171)

●取組みのステップ

平成18年?

協働による克雪を検討

- 大石田町は平成18年に「新たな大石田町を目指した自立計画書」を策定しました。実践に当たってのキーワードとして「協働」を掲げました。住民が行うべきこと、行政が行うべきことを明確に役割分担しながら、課題解決のためには住民と行政がともに知恵を出し合い、良きパートナーとして連携を図っていく精神です。
- これら自立するための基本理念確立の一要因となったのが、これまで紹介してきた住民の自主的流雪溝維持管理組織です。初代連合会長の榎本正夫氏は「流雪溝は血管と同じ、一箇所詰まればダメになる。お互いに協力する姿勢が大切」「雪づまり解消には、私は雪を投げる人、詰まれば行政という意識からの脱皮」と語り、協働による克雪のリーダーとして奔走し、現在の活動の基礎を築くことにとどまらず、町づくりの在り方についても一石を投じることになりました。

●得られた知見（課題と対応詳細）

<人（主体）>

□除雪の担い手募集

NPO法人まちづくり大石田は、もともと町の自然・歴史・文化等の地域資源を活用し、地域の活性化を目的として、町民有志により平成27年10月に設立されました。大石田町役場と連携し、平成28年度から除雪支援制度を開始しました。

当初の会員は10名程と少ないことが課題でしたが、幸い、取組を始めた平成28年度は、雪があまり降らず、依頼件数は81件と少なかったため10名程で除雪作業が実施可能でした。

平成29年以降の雪が多い年には除雪の担い手が不足することが懸念されたため、除雪支援制度の広報チラシにおいて、除雪作業の担い手募集を併記するなどの求人活動により、平成30年度の会員数は32名まで増えました。会員数が増加したことや活動内容が認知されてきたことにより、平成29年度以降は、220件以上の依頼に、対応することができました。

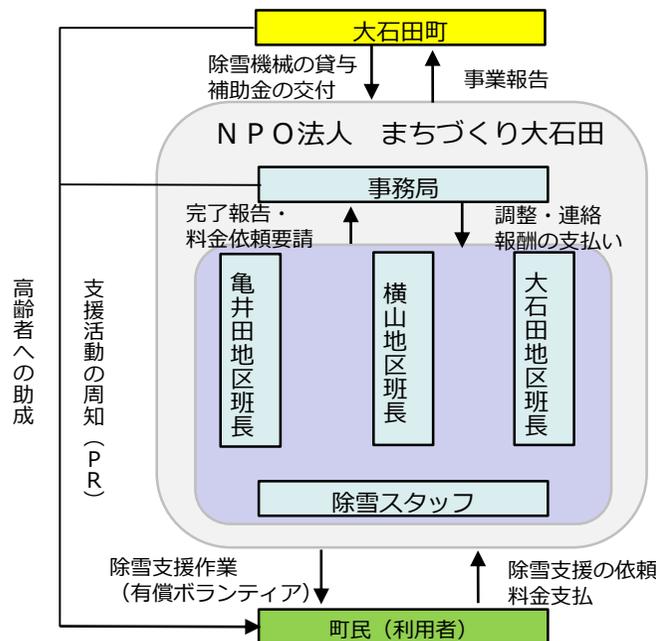
また会員数の増加により、現在は事務局、現地確認担当、各地区の班長等、役割分担をしながら、より効率的に活動しています。

平成28年?

有償ボランティア除雪支援制度の確立

- 大石田町では、平成29年1月から、各家庭の敷地内の雪処理や間口除雪を有償ボランティアにて支援する新たな除雪支援制度をスタートさせました。NPO法人「まちづくり大石田」の有償ボランティアが除雪作業を担当し、町貸与のミニホイールローダーと小型除雪機計5台を使って活動するものです。町民であれば誰でも利用することができ、料金は1時間あたり3800円（平成30年度）です。
- 作業内容としては、雪下ろしや排雪は行わず、道路除雪後の雪や屋根からの落雪について、間口や敷地にたまったものを空き地や田んぼなどに飛ばすというものです。「早い」「安い」「うまい」と好評を得ています。

●仕組みや体制



- 今後は、新たに屋根からの雪下ろしも請け負うことを検討しています。雪下ろしは、高齢者が行うには危険な作業となるので、現在60代～70代が中心のNPO法人まちづくり大石田への若い世代の加入が期待されています。

今後の展望